

—今回同封の郵送物です。ご確認ください。—

<各会員宛>

1.本ニュースレター

ニュースレター目次

- ・シリーズ 災害リハビリって? ～19～
- ・平成29年度 長野県言語障害児者数調査 実施のお願い
- ・職場体験への協力をお願い
- ・崇高な夢、誇りと勇気、未来への覚悟 長野医療衛生専門学校 入学式 参加報告
- ・長野県言語聴覚士会 生涯学習プログラム専門講座開催のお知らせ
- ・2017年度第2回長野県 JIST 法研究会
- ・長野県摂食嚥下研究会(成人)のお知らせ
- ・第49回長野県小児摂食嚥下研究会のご案内
- ・日本ユニバーサル リハビリテーション協会のお知らせ
- ・発達協会セミナーからのお知らせ
- ・国際統合リハビリテーション協会からのお知らせ
- ・会員情報管理からのお知らせ
- ・財務担当より 年会費について
- ・広報部よりお知らせ
- ・求人のお知らせ

シリーズ 災害リハビリって? ～19～

安曇野赤十字病院 栗林貴之

災害発生時の初期対応(4) 患者・利用者の移送と予防リハ

大規模災害時は医療供給体制が脆弱化することを前提に、患者・利用者を速やかに移送するシステムをあらかじめ準備する必要がある。

1. 患者・利用者の移送: 移送には施設内移動、施設間移動、居宅などからの移動がある。「施設内移動」は、建物被害の確認後、入院・外来患者、利用者を安全な場所に移送する。日頃から階段を使って移動させる訓練を行っておく。「施設間移動」は、地域の被害状況を確認し、災害時の連携協定を結んでいた施設間で移動する。災害拠点病院のベッド確保も重要なため、急性期病院からの早期転院も検討する。「居宅などからの移動」は、住宅部門・介護事業所スタッフが利用者宅に赴き、被害状況を確認する。介護度や医療度に応じて移送先を検討するが、要介護者・要支援者にとって通常の避難所は過酷な環境である。そのため、要介護者を対象とした福祉避難所の所在をあらかじめ把握しておくことが重要である。

(参考文献: 大規模災害リハビリテーション対応マニュアル、医歯薬出版)

平成 29 年度 長野県言語障害児者数調査 実施のお願い

調査部

近年、言語聴覚士の働き方は多様化しています。県士会では日々私たちが行っている臨床について対象者数やその働き方などを調査し、その動向を把握していきたいと考えています。この調査で得られた数値は個人情報保護法に基づき、公共の利益となる活動に利用していきます。

今年度は会員の調査負担軽減、回収率の向上を考慮し、8月の1ヵ月間における言語障害児者数の調査としました。お忙しい中とは存じますが、ご協力をよろしくお願い致します。

1. 目的

県内における言語障害児者数の把握

2. 調査期間

平成 29 年 8 月 1 日～8 月 31 日

3. 対象

上記期間中に ST が関わった言語障害児者（摂食嚥下障害を含む）

※1 人の言語障害児者に対して 1 カウント。（摂食嚥下障害は重複可）

4. 集計・データ提出方法

県士会 HP より集計用紙をダウンロードし、調査部アドレスへ提出

なお、詳細は 7 月に各病院・施設へ案内を送付予定です。よろしくお願い致します。

※問い合わせ slht.nagano.chosa@gmail.com 担当：寺島

職場体験への協力のお願い

事業部部長 倉石 美紀

県士会会員の皆様、日頃から事業部の活動に多大なご協力ありがとうございます。

さて、事業部では今年度も「言語聴覚士を知ってもらうため」、「言語聴覚士のイメージをより掘みやすくするため」を目的として、高校生向けの職場見学を開催したいと考え、会員皆様に協力をお願いしたいと存じます。

昨年同様、長野県内の全ての高等学校を対象に、北信・中信・東信・諏訪・南信（上伊那、下伊那）の各地区で、職場見学の受け入れにご協力をしていただける施設を募集しています。

大まかな内容に関しては、以下を御参照下さい。

- ・実施期間：平成 29 年 7 月 24 日～8 月 25 日までの間、2～3 日程度。
- ・実施時間：半日～1 日（時間は各施設の都合に合わせて）
- ・受け入れ人数：ST の所属数や対応可能な ST の数によりますが、概ね 2～3 名程度を予定。（高校生側の希望数や施設側の都合により変更は可能）

- ・内容：それぞれの施設で可能な範囲で構いません。ただ、何もわからない で見学に来る高校生に、「言語聴覚士を知ってもらおう」ためにはどうすればいいのか、ということをお頭に
おいた企画をお願いします。（昨年度は、訓練場面の見学、患者さんとの交流、嚥下食の試食
等を行ったようです）
※ただし、あくまでも高校生ですので、対象者の治療場面に参加する際は、担当者が十分に
留意し対象者に不利益となることのないようにしてください。
- ・その他：成人・小児の領域で選択できれば良いとの希望がありましたので、今年度もその点
も対応したいと思います。
また、ST について説明する際に、協会や事業部で作成したパンフレットをお送りできま
すので、希望する場合はご連絡下さい。

つきましては受け入れ可能な場合は、以下の要領で**平成 29 年 6 月 9 日（金）**までにご連絡い
ただきますようお願い申し上げます。

以下を明記した内容のメールを「**職場見学受け入れ**」の件名で、事業部のメールアドレス：
slht.nagano.jigyuu@gmail.com（県士会 HP お問い合わせに掲載）に送ってください。

1. 施設名
2. 職場見学の担当者名
3. 受け入れ可能な人数
4. 受け入れ予定の専門領域（成人 or 小児）
5. 施設のパソコンのメールアドレス（連絡が確実に取れるアドレス）
6. 施設の電話番号
7. 施設の住所（例：上伊那郡宮田村 など市町村名で結構です。）
8. 問い合わせ可能な時間帯（例：13：00～13：30、17：30～18：00 など）
9. ST に関するパンフレットを希望するかどうか

昨年度の反省として、高校生の申し込み数に対してご協力頂ける施設数が不足し、施設確保に
非常に難渋しました。職場の PT・OT と比べると絶対数が少なく、なかなか余裕をもって時間を
割くのは大変と思いますが、何卒ご理解とご協力をお願い致します。また、今回ご連絡いただけ
なかったとしても、高校生の居住地によっては急遽受け入れをお願いする場面があることをご了
承ください。

崇高な夢、誇りと勇気、未来への覚悟

～ 長野医療衛生専門学校 入学式 参加報告 ～

会長 安川 健治



4月5日（水）、長野医療衛生専門学校の入学式に参加させていただきました。本年度の新入生は、歯科衛生士学科18名、言語聴覚士学科17名（うち編入生3名）、音楽療法士学科6名、計41名で、特に、言語聴覚士学科は、過去最高の新入生数とのことです。

式の冒頭、高木 房雄 校長先生の式辞（上の写真）では、本校では全学科が「職業実践専門課程」として認定を受けており、自信を持って社会に出ていってほしいというお話がありました。その中で、目指す峰の厳しさ故に、悩むことは当たり前、それでも、崇高な夢を持ち続け、誇りと勇気、未来への覚悟を持って、夢の獲得に邁進してほしいという励ましのお言葉をいただきました。

次に、新入生を代表して、音楽療法士学科の 奥原 菜月 さんが、「誓いのことば」を述べ、引き続き、言語聴覚士学科2年で学生会長の 池田 このみ さんが、新入生に対する「歓迎のことば」を述べました。池田さんは、学科によって校舎が別々でも、スポーツ大会、文化祭など交流の機会があることを紹介し、また、医療福祉の従事者を目指し、支援を求める人に「寄り添う」機会の中で、人との出会いや多くの体験を積んでいってほしいと、新入生にエールを送りました。

その後、担任紹介では、富井 浩子 先生、市川 理恵 先生が、言語聴覚士学科の編入生、新入生の担任として紹介されました。富井先生には、閉式後、先月の卒業証書授与式の記念写真（右の写真）をいただきました。その際、式中、成田 守夫 理事長先生のごあいさつでも触れられていた、前年度卒業生の資格試験、全学科100%合格のお話もお聞きしました。前年度卒業生の合格率、本年度新入生数とも、本校の教育活動の充実による躍進と拝察し、喜ばしい一日でした。



長野県言語聴覚士会 生涯学習プログラム専門講座開催のお知らせ

生涯学習部

下記の通り生涯学習プログラム専門講座を開催します。

今年度は、会員の皆さんよりかねてから要望が多かった専門講座二講座(小児領域・成人領域各一講座)の開催とします。年1回のみ開催となりますので、是非、多くの皆さんの受講をお待ちしています。

また、昨年同様、託児設置も行ないません。お母さん・お父さん会員の皆さんも、この機会に、ぜひ受講ください。

日本言語聴覚士協会への入会手続きには日数を要しますので、受講をご検討中の方は早目の入会手続きも併せてお願いします。(非協会員でも受講は可能ですが、ポイントは認められません)

開催日時：平成 29 年 7 月 30 日(土) 9:40~講座①・12:40~講座②受付開始

会 場：塩尻総合文化センター 大会議室 予定(塩尻駅徒歩5分)

◎駐車場について…駐車場は複数ありますので、時間に余裕を持って、下記地図をご持参の上利用いただきますよう、お願いします



13時~15時「臨床力をあげる嚥下訓練」柴本 勇先生(聖隷クリストファー大学)

受講費：協会員 2,000 円、非協会員 4,000 円、学生無料(学生証呈示)

※協会員とは、日本言語聴覚士協会の会員を示します(県士会員でも協会の会員でなければ非協

会員となります)

〔申し込みについて〕 **事前申込制**です

- ・申し込み期間：6月26日(月)～7月8日(土)
- ・申し込み方法：件名に「生涯学習受講申し込み」・本文に下記**必要事項**を明記の上、**学術教育部・生涯学習部共用メール**へお申込み(生涯学習担当 勝野・市川・田中 宛)ください。

《申し込み時必要事項》

- ①氏名 ②フリガナ ③協会員番号(非協会員はその旨記載)
- ④地区名(北信・東信・中信・諏訪・南信上伊那・南信下伊那)
- ⑤受講内容⇒A)～C)のいずれかを必ず選択
- A) 講座①(午前)のみ受講、B) 講座②(午後)のみ受講、C) 講座①②共に受講
- ⑥託児希望 有・無

※同施設で複数名お申込みになる際には、まとめてお申し込みください

〔お願いとご注意〕

- 講座開始 **20分前から受付を開始**します。
連続して二講座受講の方はまとめて受講費をお支払いいただき、**受講終了まで受講記録票をお預かり**します。
混雑が予想されますので、**受講費はお釣りの要らないように用意**をお願いします。

- 各講座開始後 **15分までが受講受付可能**となっています。
15分以降は受講したとみなされませんのでご注意ください。

- 協会より送られている**生涯学習受講記録票**を必ず**ご持参**ください。**必ず協会会員番号・氏名をご記入**ください。

〔託児サービスについて〕 **※県土会員限定のサービスとなります※**

- 委託先は昨年度同様**有償託児サービスぱぴいキッズ**
(HP:<http://pu-ppy-1781.sakura.ne.jp/>、ウィングロードビル3階)です。

○託児会場は**上記委託先の本部**となり、**講座会場とは別会場**となりますのでご了承ください。

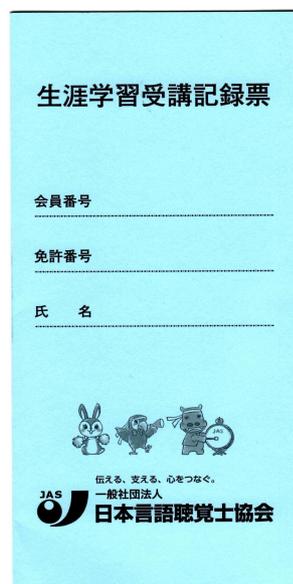
(託児会場は講座会場から車で5分、徒歩で10分圏内です)

- 対象年齢は**生後2ヶ月～小学生(12歳)まで**です。

○**受講の事前申込時に託児希望を明記**していただき、追って、専用の託児申込書をお送りしますので、**別途、申し込み**をしていただきます。

○託児サービスは**9:30～15:30(6時間)まで設置**します。料金は**お子さんの人数は関係なく、会員一人当たり**として、以下の金額になります。

- 1) 一講座受講(約3時間) : 1,000円
- 2) 二講座受講(約6時間) : 2,000円



お問い合わせ：生涯学習部担当 中島・市川・田中
slht.nagano.gakukyo@gmail.com

県土会 HP(<http://www.slht-nagano.org/>)に最新情報を公開します。ご確認をお願いします。

<2017 年度第 2 回長野県 JIST 法研究会>

日時：2017 年 7 月 23 日（日）9：30～12：30

場所：相澤病院 S 棟会議室

内容：症例検討、文献抄読

会費：無料

申し込み：不要

問い合わせ・申し込み先：長野赤十字病院 二木保博 hkbty560@ybb.ne.jp

その他：会場が変更になる場合がございます。参加希望の方は、事前にご確認お願いいたします。

『長野県摂食嚥下研究会（成人）のお知らせ』

「分からないことを『分からない』と言える、そんな気軽に意見交換のできる」研究会を目指しております。多くの方に参加して頂き多くの意見や情報が得られたらと思います。是非ご参加ください。

- ・日時：平成 29 年 7 月 15 日（土）14：00～17：00
- ・場所：相澤病院 ヤマサ小ホール（*変更する場合がございます。変更した際は HP に掲載しますのでご確認ください。）
- ・内容：症例発表、その他（*内容が決まり次第 HP に掲載します。）
- ・参加費：無料
- ・申し込み：不要。お気軽に参加頂ければと思います。
- ・問い合わせ先：安曇野赤十字病院 リハビリテーション科
神田 TEL:0263-72-3170（代表）

第 49 回長野県小児摂食嚥下研究会のご案内

長野県小児摂食嚥下研究会 事務局

当研究会では、下記の要項で、第 49 回研究会を開催いたします。

今回のテーマは、「**発達障がい児の摂食嚥下の問題と対応**」です。

医療現場や施設・教育現場で発達障がい児と関わるが増えているなか、食へのこだわり・偏食などに対しどのようにアプローチするのがよいか悩む機会も多いかと思えます。

今回は、まず、これら問題についての学校現場での取り組みを山梨県立あけぼの支援学校教諭の保坂みさ氏にご講演いただき、その後、関連する事例報告(1 例)を行います。

ご多用中とは存じますが、ぜひ、ご参加ください。

○日時：平成 29 年 7 月 29 日（土）午後 2 時～5 時

○場所：長野県立こども病院北棟会議室

○テーマ：「**発達障がい児の摂食嚥下の問題と対応**」

○プログラム：

- 1) 午後 2 時～3 時 30 分：山梨県立あけぼの支援学校 教諭 保坂みさ氏
話題提供：「学校教育の中での発達障害のこどもたちへの食事支援（仮）」
- 2) 3 時 40 分～5 時：事例提供（1 事例を予定）

○参加費：1000円（事前申し込み不要）

○問い合わせ先・信濃医療福祉センター言語療法科内

長野県小児摂食嚥下研究会事務局（担当：小久保）

電話：0266-28-0056 FAX：0266-27-5953

e-mail：st@shinano-iryo.or.jp

※昨年度より、不都合の無い方には、メールでのご案内にさせていただきたく存じます。

今回、ご欠席の方でも、今後ご案内通知をご希望の方は、お手数ですが、

下記連絡先まで、メールアドレスをお知らせください。PC・携帯のどちらでも構いません。

長野県言語聴覚士会会員の方は、ニュースレター等でののご案内となりますので、ご連絡は不要です。

連絡先：st@shinano-iryo.or.jp

日本ユニバーサル リハビリテーション協会のお知らせ

日 時：2017年6月18日（日）10:00～16:30（開場 9:40）

場 所：八王子市芸術文化会館いちようホール（東京都八王子市本町24番1号）

内 容：【長期療養生活6年、ADL全介助の症例に、局所的ではなく、全身の筋緊張を一度に落とすポジショニングを行ったところ、拘縮が変化して端座位や自立、20日後にお楽しみのゼリー食を用いた摂食嚥下訓練の介入に至った。】上記の内容で、2013年9月、岡山開催の第9回摂食嚥下リハビリテーション学会へ口述発表する。

<プログラム>

～理論編～

■長期療養生活者の過緊張、関節拘縮の変化から関節可動域が改善した症例を提示し、重力をコントロールしたポジショニングを行うことでの様々な効果を報告する。

●誤嚥性肺炎を繰り返し全身関節拘縮、長期療養生活から2カ月後嚥下訓練導入開始。上記の筋緊張のコントロールが誤嚥性肺炎を繰り返す長期療養生活を送る症例に変化をもたらした。局所的ではなく全身的な過緊張の緩和が摂食嚥下に影響する事実を提案する。

●頸髄不全損傷、長期療養、全身関節拘縮、起居動作全介助の状態から介入4回目で端座位、24日目で車いす自操、32日目でADLを獲得した症例。この症例のポジショニングR.E.D.方法と技術伝達。

●実際の介入方法や技術論、ポジショニングR.E.D.の具体的内容を伝達、また技術指導。

～実技体感編～

■臨床への応用

●（医学相対性理論、R.E.D.環境の解説） 訓練場面で低反撥マットレスを重ねてポジショニングをとるだけで、筋緊張の変化から関節拘縮の改善が起こります。この原理、理論を紐解きます。

●（R.E.D.環境を使った訓練場面でのポジショニング実技） 安定した筋緊張は持続します。再び亢進しても適宜継続して介入することで、姿勢の変化や全介助から自立する症例がみられます。この事例を交えながら実践していただきます。

●（R.E.D.を生かした各症例に対するポジショニング実技） R.E.D.環境で簡単に過緊張の筋は緩み、姿勢及び嚥下機能は変化します。これを疾患別に説明します。

会 費：15,000円（税込）

申し込み: 必要

申し込み期間(期限): 2017年6月15日(木)までにお申し込みください

問い合わせ・申し込み先: 日本ユニバーサルリハビリテーション協会 TEL 042-208-0102
e-mail: otmode@jcom.home.ne.jp

HPよりお申し込みください <http://universalreha.com/>

<発達協会セミナーからのお知らせ>

8月3日(木) 4日(金)

H リハ職(ST・OT)のための発達障害セミナー 一 家族支援も含めて

専門を深めるとともに、専門の垣根を越えて学ぶ2日間です。

子どもへの支援は、全体発達をふまえて考え、実践することが大切です。そのためには自身の専門領域を深めつつ、近接領域へも関心を広げておくことが望まれます。このセミナーでは、発達障害のある子と関わるリハ職が学んでおきたい知識を、6コマに凝縮しました。診断基準、コミュニケーション、感覚等に加え、子どもの支援と切り離すことのできない家族支援についても学びます。

①発達障害と医学—診断基準の症状をどう理解するか

古荘 純一先生 (青山学院大学)

②自閉症スペクトラム障害の子へのコミュニケーション支援

大岡治恵先生 (日本福祉大学中央福祉専門学校)

③構音指導の実際—機能性構音障害を中心に

本間慎治先生 (発達協会 王子クリニック)

④感覚統合理論をふまえた子どもの理解と関わり方

松本政悦先生 (横浜市港南地域療育センター)

⑤手指のコントロール力を育てる指導

松本政悦先生 (横浜市港南地域療育センター)

⑥発達障害のある子を育てる家族への支援—専門職としての心構えも含めて

中川信子先生 (子どもの発達支援を考えるSTの会)

8月9日(水) 10日(木)

M ことばの育ちを支援する—評価法と多様な側面への理解と支援

経験や勘だけに頼らない、評価に基づいた指導方法を学びます。

子どもの発達の中で、関心の高い領域のひとつが「ことば」です。「ことば」には理解、表出、聴力等多様な側面があり、それぞれの発達や連関をふまえた上で、子どもと関わる必要があります。

このセミナーでは、「ことば」の発達と障害、評価法とともに、諸側面への指導・支援法を学びます。保護者へのアドバイスにも役立つ、暮らしの中で「ことば」の力をはぐくむための働きかけを含め、経験豊富な講師陣の事例も聞ける、充実の内容です。

①ことばの発達とその障害

大伴潔先生 (東京学芸大学)

②ことばの発達の評価—LCスケールを中心に

大伴潔先生 (東京学芸大学)

③ことばの発達と聴覚—聴こえの問題への理解を深める

廣田栄子先生（筑波大学）

④話しことばの障害とは一構音障害と吃音を中心に

原由紀先生（北里大学）

⑤ことばの獲得に向けた発達支援

立松英子先生（東京福祉大学・大学院）

⑥暮らしの中でことばを育てる

國島典子先生（ことばの相談室ホワイトベル）

☆その他にも様々なテーマで講座を行っております。詳しくはHPをご覧ください。

★お申込み方法

《申し込み》お電話・FAX・発達協会ホームページから、お申し込みいただけます。

・電話：03-3903-3800

・Fax：03-3903-3836

・HP：<http://www.hattatsu.or.jp/>

《ご注意》・同じ日程で開催されるセミナー（例：A，B）

を申し込むことはできません。

・申し込みの殺到が予想されるセミナーもございます。

お早めにお申し込み下さい。

《時間》各日 10:15～16:20（1つのセミナーにつき2日間の日程で行います）

《定員》約150～300名（定員になり次第、随時締め切ります）

《会場》東京ファッションタウン（TFT）ビル東館 9階研修室

東京都江東区有明3-6-11

《受講料》各14,040円（税込）（会員12,960円（税込））

国際統合リハビリテーション協会からのお知らせ

日 時: 平成29年7月2日（日）

第1回) 10時00分～16時00分

平成29年8月6日（日）

第2回) 10時00分～16時00分

場 所: 《7月》昌賢学園まえばしホール 第4会議室[前橋市南町3-62-1]

《8月》伊勢崎市民プラザ 第1和室 [伊勢崎市富塚町220-13]

内 容: こちらをご覧ください

》》》 <http://iairkanto.jp/semiother/iairtherapy/>

会 費: 8,532円（税込）

申し込み: 必要

申し込み期間（期限）: 各日 前日 13:00 まで（定員に達し次第、締め切り）

問い合わせ・申し込み先: kohei_yoshida@iairkanto.jp

その他: 申込方法 :こちらよりお申し込みください

》》》 <https://11eiend.com/stepmail/kd.php?no=HShgako>

◇会員情報管理からのお願い◇

来年度（平成 29 年度）

- ① 変更や休会等をご予定の方
- ② 県外異動などで退会をご予定の方

今年度（平成 28 年度）

- ③ すでに変更した点があるが、変更届の提出がお済みでない方

以上の方は該当届の提出をお願いいたします。

各種届出用紙は県士会ホームページよりダウンロードできます。

新年度にむけてスムーズな対応ができるよう皆さまのご協力よろしくお願いいたします。

◇財務担当より 年会費納入のお願い◇

年会費の納入がお済みでない方は、口座振込での会費納入をよろしくお願い致します。

※病院・施設ごとでお振込み頂くことも可能です。その際は、納入される方のお名前を、事務局メールアドレス（slht.nagano.jimukyoku@gmail.com）までご連絡いただくようお願い致します。

年会費	①正会員 5,000 円 ②賛助会員 3,000 円 ③休会ニュースレター希望者 1,000 円
振込先	八十二銀行 稲荷山支店 店番号 284 普通口座番号 283261 長野県言語聴覚士会 会計 藤井はるな

現財務担当の藤井が県外異動(予定)の為、3 月下旬から総会終了までの財務担当を会長任命により吉川沙希子さん(県総合リハセンター)にお願いすることとなりましたので、ご報告いたします。なお、年会費の振込先の変更はありません。

お問い合わせも、事務局 Gmail：slht.nagano.jimukyoku@gmail.com に「財務担当」宛にいただければ藤井もしくは吉川さんが対応いたします。よろしくお願いいたします。

◇広報部よりお知らせ◇

県士会ホームページは最新のトピックスを随時更新中ですので、是非ご活用ください。

尚、会員向け情報ページのパスワードは「nagano」です。所属一覧などはそこから確認できます。会員の皆様ご承知ください。

☆求人のお知らせ☆

社会医療法人 健和会 健和会病院

募集内容と人員 言語聴覚士 若干名

応募受付及び採用試験 随時

応募方法 応募希望の方は、履歴書をダウンロードし、下記へ郵送ください。
病院HP ご参照ください。

〒395-8522

お問合せ及び履歴書の送付先 長野県飯田市鼎中平 1936

健和会病院 技術部長 佐藤まで

電話:0265-23-3116 メール：i-sato@kenwakai.or.jp



長野県言語聴覚士会 ニュースレター 2017年5月

発行：長野県言語聴覚士会広報部 NL 担当

〒393-0077 長野県諏訪郡下諏訪町矢木町 214

社会医療法人 南信勤労者医療協会 諏訪共立病院

TEL：0266-28-2012（代）FAX：0266-28-5241

E-mail：slht.nagano.koho@gmail.com

※次号は7月末です。掲載ご希望の情報などがありましたら、
平成29年7月15日までに広報部 NL 担当にご連絡ください。